京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年 紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一圓金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人 高木久馬太

印刷人 松久紳一郎

京城西小門通(電話六六三)

發行所 京城新報社

咸南黒鉛事業

近來韓國に於ては鑛業熱盛んにして到る處 [illegible] 沈默を破りて續[illegible]區の發見に全力を注ぎ咸南定平郡にて目下農商工部に出願せるもの十八件に達したるは [illegible] 開國以來の現象なると同時に從來沈滯したる北韓經濟界が之れが爲め活氣を呈するに至らば獨り北韓の利益のみならず韓土全體に好影響を與ふるものなるが故に是の秋に當つて三井物產は出願許願に止めず實際に鑛業出願に着手するは斯業の發展上忽にすべからざると同時により以上の必要なるは道路の改修之れなり [illegible] 道路にては縱令有望なる事業なりと云へ交通不完備なるが故に費用の爲め却つて事業半にして失敗に歸するやも知るべからずされば產業獎勵に對する先決問題として道路改修は急務なれば政府は產業獎勵と同時に完全なる交通機關を興ふるは政府としての義務たるものなり然らざるに於ては折角企圖されたる事業界をして再び沈衰に陷れざるべからず況んや北韓の黒鉛事業は將來韓國の富源たるべきものなるを以てなり。

撫順炭と大豆

[illegible]上海間定期航路開始以[illegible]丸機關長として滿鐵會[illegible]路擴張を囑托せられて[illegible]りたる樋尾春藏氏は今[illegible]令により歸國の途次去[illegible]時郵船博愛丸にて上海[illegible]に向ひたるが氏は同地[illegible]曰く目下滿鐵會社は十[illegible]五噸積の炭送車を使用[illegible]炭を路方面に向け輸送[illegible]一日間に大連に到着す[illegible]百噸なり而して同會社[illegible]海方面輸出を試み機關[illegible]日新聞社より多數の特[illegible]關政策其他種々の方法[illegible]路擴張に務めたる結果[illegible]して今や各國汽船燃料[illegible]同炭を仰ぐに至り昨今[illegible]け一ヶ月約二千噸を輸[illegible]同市場に於ける石炭の[illegible]を占め次は開平炭の一[illegible]は即ち撫順炭なり然れ[illegible]靜知する事を得ざるも[illegible]にて推移せんが撫順炭[illegible]市場に於ける他炭を凌駕して顔色無からしむるに至るべし從來外國汽船の大連へ入港するもの多くは其燃料炭積込の爲め四五日間を浪費し然も高價なるにも拘はらず九州炭積込の必らず先づ口の津又は大牟田の積港へ寄港したるが今や滿鐵會社にて撫順炭の說明を爲すと同時に是が試用を仰ぎて只管其供給の途開發に活動したる結果昨今に至り此等諸外國船も多く之を使用するに至りたり▲目下大連埠頭に堆積せる大豆は約二万噸にして多くは三井物產會社を經由して內地又は海外諸國へ輸出せらるゝものなるが彼の外商サミユル商會との競爭は昨今に至り愈々三井の掌中に歸したるが同社は盛んに買付け輸送を爲しつゝあり之れに反しサミユル商會は比較的に振はざるも明年以後に於て更らに大競爭を試みんとて畫策しつゝあるが如し今回の競爭にて意外の利益を獲得したるは啻に農民のみなるが三井は從來の取引關係上農民等の信用厚く且つ買付け迅速なれば明春に至り如何に外商が之れと競爭を試みんとするも到底之れを左右する事能はざるべければ明春に於ける滿洲の大豆市場は恐らく三井の獨り舞臺なるべし云々

間島韓人の保護

曩に間島に於て清國巡警が同地在留韓人に對し不法の所爲をなしたる爲め我警官現場に出張したるに清國巡警は不法にも我が警官に負傷せしめたるを以て同地駐在永瀧總領事は清國邊務督辦呉祿貞に對し加害者の處分を要求する所ありしが呉督辦は我要求を容れ加害巡警は免職、或は罰俸等夫々處分をなす旨を回答し來れる由斯の如く同地にある清國巡警に對し到底生命財產の保護を托する能はざるを以て永瀧總領事は今回呉督辦に對し爾後內地に在留する韓人の保護は之を我國に托するの好都合なるべき旨を語りたるに呉督辦は北京政府の許可を得るにあらざれば交涉し難しと答へたる由なるが本問題は同地在住の韓人の保護上頗る重要事件なれば他日交涉をなすに至るならんと

日本銘刀傳

第四十九席 邑井一講演

仙吉近づき見れば、如何にも苦痛の體で居りまする容子、打寄する波は渺漫く、遙か彼方に富士の岑、霧さへあらぬ夏の初め 仙「お武家さん、何うなさいました 武「ア、、何うもせん／＼ 仙「何うかなすつたか 武「幕吏に追はれて詮方なく、此處まで來たつて數名を相手、今割腹致さんとして居る處 仙「是れは何うして宜いか分りませんが、全體貴方は何處のお方です 武「御身は何方の御方か 仙「俺は攝津の木津の者でございます 武「なに……木津の者……木津の者とは懷かしい、拙者は何を隱さう、會津出生、仔細あつて木津の上坂と云ふ所へ養子となりたる上田源之助と申す者」聞いて吃驚り仙吉が 仙「夫れおや貴方は阿父さん……仙吉でございます 源「何、せゝゝせ、仙吉か 仙「ハイ貴方のお跡を慕ひまして水戸まで參つたんですが、櫻田で大騒動があつたと聞き、貴方も其中に這入つて居はなさらぬかと、江戸へ參つて尋ねたが、皆暮れ行方が知れず、江戸を立つて今此處まで參りました處、俺の顔をお見忘れはございますまい 源「ウン、何んで見忘れて宜いものか、仙吉であつたか 仙「ハイ仙吉でございます、阿父様、阿母様は貴方のお懷しうございます……阿母様は貴方の四歳の時に家出をなすつて、何うしたことかお便もなく餘りお懷しさの餘り、お跡を尋ねて方々を廻りましたが、此處で斯う云ふことにならうとは思ひません、一体何うなすつたんでございます 源「實は高輪の或る寺に異人を殺さん爲めに忍び入り遂に其の異人に傷を負はせ、其儘遁れて潛伏し、夫れから櫻田の騷動にも、首尾能く彼の同志に加はつて、本望を遂げて後、遂に彼の場は遁れたけれども探索嚴しきが爲め、暫らく鎌倉に身を忍び、夫れより東海道を下る折柄、此の田子の浦にて幕吏三人に追はれ、見らるゝ如く三人は斬つて捨てたが、我も數ケ所の手傷を負ひ、所詮免れぬ我が運命、早く割腹致さんとなせし處、親子の緣の盡きずして、此處で逢ふのは能く／＼だ、仙吉名を揚げて呉れよ 仙「阿父さん、此處でお目に掛ると云ふのは深い縁、名を揚げるわけには往きますまいが、何うか是れから人間に……

源「オ、能く言つた、茲に携へたる此の刀は先祖より傳來の名劍、小鍛と呼ばれたる刀鍛師の鍛はれたる、外新刀にては其類なき二尺二寸の名刀、我幼名を鐵三郎と云ふたゆゑ、小鍛の刀をば親父様は兄に讓らず我に讓る、是れをば其方に讓るゆゑ、今日より仙吉に於ては名前さへも面白からず、會津生れの上田の倅、會津の小鍛と名乘るべし 仙「難有うございます、さうで候でねえ中に這入りました此の仙吉、夫れぢやア會津の小鍛と云ふ、是れから肩書附になりませう、去りながら阿父さんの臨終にのぞんで、坊樣を招いで念佛さへも唱へることが出來ねえと云ふ此の場の仕誼、南無阿彌陀佛／＼と 源「死んだら此の身体ア埋めるには及ばねえ、うてらの波に流して呉れ 仙「イエ其様なことは出來ません、田子の浦邊に寺がなけりやあ、是れから遙か蒲原に貴父の身体を持つて行つて埋ることに致しますが、うした處が仕方がない、往來もねえ此の浦邊でございますから四邊の枯木を集めて、現在此の倅だ茶毘一片の烟となし、骨を拾つて木津へ歸り、阿母さんと諸共に回向をするてとに致しますから、阿父さん其の思召しでお居で下さい」と仙吉は涙組んで申しました。

東京電報

▲北白川宮の御慶事

北白川宮成久王妃房子内親王殿下は十九日王子御分娩あらせられ御母子共に御健全にあらせらる(二十日)

▲兩陛下の御滿足

天皇皇后兩陛下には房子内親王殿下王子御分娩の趣聞召され殊と御滿足に思召さる(廿一日)

▲韓太子の御歸韓

韓國皇太子には愈々來る四月上旬東京御出發九州地方御見學の上歸韓せらるゝ事に内定したり御滯在の期間は三週間の豫定なり(同上)

▲駐韓師團の交替

韓國駐剳師團交代期は過日上奏中なりしが御允裁あらせられたるに就き陸軍省にては十八日附を以て第六師團に歸還命令を第二師團に派遣命令を發すると同時に宇品陸軍運輸本部に向け交更師團は來る四月上旬交代すべき機轂設計畫を成すべき旨命令を發せり(同上)

▲共進會と審査官

來る三月十一日より福岡市に於て開催すべき九州沖繩八縣聯合共進會の審査官及審査囑托は本日夫々任命せられたり(同上)

▲韓太子と同行者

韓太子殿下四月御歸韓の際は岩倉輔育總裁事務取扱其の他宮内省官吏數名御同行申上ぐべし(同上)

▲鑛物調査の着手

農商務省來年度新事業の一たる鑛物調査費貴族院に於て決定したる上は直に五月より着手する筈なり(同上)

▲智利國の博覽會

智利國獨立壹百年紀念祝典の爲め本年九月サンチアゴに於て美術工藝萬國博覽會開催の議あり本邦にも贊同を申込み來れるに就き農商務省にては佐賀其の他の各府縣當業者を指定し出品申込を取扱ふべき旨關係地方廳に通牒を發したり(同上)

紐育電報

▲大統領と豫選投票

ルーズベルト氏の歸國に關し合衆國の到る處大評判にて爲めに現政府の評判下れりタフト大統領は輿論に從ふのみなれどもルーズベルト氏は輿論を指導すと稱せらる紐育新聞紙はル氏に隨從せしめんがカールスムに向ひ特派員を出發せしめつゝあり又此間西部中央新聞に於てル氏とタ氏の優劣投票を行ひたるにル氏のタ氏に優れりと爲すもの五倍の多數に上れり(廿日)

北京電報

▲錦愛と借款增加

錦愛鐵道借款は一百万磅に增加せり尚同鐵道に對する日本の回答に付目下討議中なり(二十日)

▲白河解氷と河開

數日前より頗る温暖となりたるが爲め白河の結氷は既に溶解しつゝあり此模樣にては二月二十五日の大潮を以て河開きをする事に豫定せらる(同上)

雜報

駐韓軍隊の交代

臨時韓國派遣步兵第一聯隊第三大隊(步兵第六同第六十八、同第卅三、同第五十一聯隊にて編制)同第二聯隊第一大隊(步兵第八同第七十、同第卅七、同第六十一、聯隊にて編制)同第二大隊(步兵第四十六同第五十五、同第四十八、同第五十六聯隊にて編制)は豫定の如く來る四月上旬を以て全部內地原隊に歸還し交代部隊は第八師團より步兵第五(青森)同第卅一(弘前)同第五十二(同)第十七(秋田)第十三師團より同第十六(新發田)同第卅(村松)同第五十(松本)同第五十八(高田)第十四師團より同第二(水戶)同第五十九(宇都宮)同第六十六(同)第十五(高崎)の十二箇聯隊中各一個中隊宛の兵員を拔き三個大隊を編制して韓國に派遣し渡邊司令官の隷下に屬せしむる筈なるが之れと同時に第一師團步兵第一(東京)同第三(同)同第四十九(甲府)同第五十七(佐倉)第九師團同第七(金澤)同第三十五(同)同第三十六(鯖江)同第六十九(富山)第十五師團同第十八(豐橋)同第六十(同)同第卅四(靜岡)同第六十七(濱松)聯隊にて編制派遣したる三個大隊の半數即ち昨年十一月服役を延期されたる兵員は前記三箇師團の各聯隊より約半個中隊の新兵を韓國に派遣し服役延期兵と交代せしむる計畫にて陸軍省にては既に御裁可を經て宇品運輸本部に輸送計畫を命じたりと

韓國治道の工程

隆熙元年治道費豫算二百五十萬圓を計上し繼續工事として今日に到る工程は既に百五十里の工を竣へたるが就中當初の豫算外にして緊急工事として臨時起工したる鏡城、淸津間及最近特別人夫を使用せる海南線の二線道は前者に於て工費約七萬圓後者同二十萬圓計二十七万圓は一時便宜上右二百五十萬圓の豫算費中より流用したりしも本年度に於て更に財源を求め補給の途を講じ當初豫定の工程を完了せしむる筈なるが尚は新計畫工事に就ては目下內部、度支部間に交涉を累ね更に新財源を造り急切の地區より起工すべく右工事に關する一切は一週間內外に於て決定を見るべき筈なり以上は國庫支辨に待つ治道工事なるが一面地方費支辨による一郡十三道に亘る治道費本年度に於て約三十万圓と有せり以上地方費は專ら道郡道途に支出さるべき性質のものにて他里面等に屬する道路は便宜法に據るべしと雖ども要するに政府は地方狀況に照し相當補助を與ふる意向なり治道工夫としての賦役法は多少不便の缺點あるも治道勞働者は爲めに生計補足の便を得當局に於ても大に經費を節約するの利あり兩者交々其利に浴し意外の好績を收むるに至れりと

太子歸韓と嚴妃

別項東電の如く韓太子英親王には來る四月岩倉輔育總裁御同伴申上げ九州地方の御見學を了へ次で御歸韓あらせらるゝ筈なるが太皇帝を始め嚴妃の如何に其日を待ち遠はしく思召さるゝぞと恐察に餘あり今其間の消息に就き仄かに漏れ承はる處によれば目下滯日中の嚴柱益氏は太子御歸韓の運動費及旅裝の用途に辨せん爲め客臘中三萬圓の調達方を伯母君嚴妃に申越し來りたるに妃の喜び譬へんに物なく然るに內帑の支出を煩はすは四圍の事情如何あらんと遠慮し豫て万一の御用意として私有に歸し居れる全羅道の某田地を二萬七千圓に賣拂ひ尚は其不足額三千圓は弟嚴俊源氏の邸宅を放賣せんと苦心中なる由而して嚴俊源氏は該命受領の爲め近日歸韓すべしと(電通)

市場統一の協定

全韓國市場に關する許否取締區々たるを以て弊害多き爲め農商工部に於ては統監府と協定の上市場の取扱方針を左の如く規定したり

一、專管居留地と各國居留地に於ける市場の新設變更に付ては理事官に於て之を許可すること

二、公開雜居地又は居留民團學校組合日本人會所在地に於る市場の新設變更に付ては日韓人たるを問はず出願に對し漢城府尹觀察使は關係理事官と協定の上許可すること

但し公開雜居地に於ける申請者は全部又は一部日本人なる時は理事官と連署すること

三、前項以外の日本人居住地に於ける市場の新設變更に付ては日韓人を問はず其の出願に對し漢城府尹觀察使之を許可すること

國境不穩の情報

淸韓國境中鴨綠江沿岸は同江結氷の爲め淸人の來往者夥しく而して其多くは無賴の徒輩のみにして韓民に賭博を強ひ目下十七道溝の如きは到る處に之を開張し官憲之を制すれば暴力を以て抵抗し其橫暴見るに忍びず斯かる情勢なれば該地官憲は不得已其爲すが儘に放任し宛然無警察の有樣なりと云ふ

兇漢の控訴抛棄

十九日午後統監府に着したる電報によれば兇漢安重根は控訴權を抛棄したり

●協贊會の記者招待

福岡共進會開會前に各地の新聞社通信社員を招待して同會の概要を豫て江湖に紹介するの便を得んとは同會の夙に希望する所にして種々協議計畫中なりしが十八日愈々定案となり夫々招待狀等を發することゝなれり右招待狀を發すべきは東京、名古屋、京都、大坂、神戶、中國、四國、九州、韓國、滿洲、臺灣等の重なる新聞社通信社にして開會前一應の觀察を遂ぐべき便宜を慮り二月八日を期し午後五時までに公會堂(又は縣會議事堂)に各社員の來會を待ち事務長より共進會の設計沿革に關し一場の說明をなし了つて公會堂に於て洋式晩餐會の招待あり而して翌九日よりの接待豫定は左の如し

▲九日 午前九時電車にて旅館出發東西公園巡覽〇十一、二時頃共進會場歸着〇場內にて午餐後場內の概況及館內の出品陳列を通覽〇了つて演舞館の演舞供覽〇六時より常盤館若くは一方亭福村にて日本式晩餐會

▲十日 各社員の隨意により八幡製鐵所若くは三池築港の何れかを撰び午前八時より案內

右の外尚機宜の措置あるべきが各社員の來着は豫め通知を待ちて驛に歡迎へたる上指定の旅館に案內し滯在中通信及び視察上に十分の便宜を供し旅館等に關しては最も注意する筈なりと

●韓銀貨幣發行週報

一、銀行券總發行平均高(自二月十三日至二月十九日)	一三、二七二、五七四
內正貨準備發行高	四、八〇〇、七八六
保證準備發行高	八、四七一、七八八
二、銀行券平均手許有高	六六三、二九六
三、銀行券市場平均流通高	一二、六〇九、二七八
四、硬貨發行額(二月十九日現在)	五、七八四、三七〇
內 金貨貳拾圓	一、三五〇、〇〇〇
同 拾圓	五〇、〇〇〇
同 五圓	五〇、〇〇〇
銀貨五拾錢	九四五、一五〇
同 貳拾錢	一、四二四、五一〇
同 拾錢	九三七、八四〇
白銅貨五錢	六八四、六〇〇
青銅貨壹錢	二六一、七九〇
同 五厘	八〇、四八〇

●行政事務標準調査

內部地方局に於ては近日內左の事項に付局長及事務官の間に調査會を催す筈

一、府道政の一般に關する事項
一、會計に關する事項
一、地方費に關する事項
一、府郡以下に關する事項
一、地方團体に關する事項
一、社還米に關する事項
一、社祠寺宗教に關する事項
一、救恤慈濟に關する事項
一、褒賞に關する事項

以上は專ら道に關する事項なるが尚郡面里等に關しては之に準じ調査事項を定め更に調査さるべき筈なりと

●慶北道路新設計畫

慶北安東郡は同道中樞の地にして且穀物の産地なるが大邱とは商取引上多大の關係あるも道路險惡にして爲めに商業上頗る不便あり今般同地間に道路新設計畫を立て之れが實地踏査の爲め大邱商業會議所副會頭安松熊吉氏外官民十余名は尙三日前視察の爲め出張せり

●西韓各市場の模樣

十七日宣川に開市あり狀勢頗る不穩なりしも其筋の警戒嚴なるを以て何等の紛擾なく商取引三千圓以上の多額に及び無事終了せり、博川市場に於ては十八日開市、徵稅額二圓五十錢なりしが納稅反對者と認むべきものを警察署に拘束したる爲め是亦無事に閉したり

●鐵道吏員等の不安

鐵道官制改革に伴ひ韓國鐵道管理局に於て數多の冗員を生ずる事となり其結果龍山停車場のみにても二十人の罷免の厄に接すべく尙管理局各課に於て同樣の沙汰を蒙るに至る者多かるべく爲に同局員は不安の裡にありと傳へらる

●博川の市日と徵稅

去る十八日は平安北道博川の市日なりしが當局者は豫め不穩の形勢あるを看取して煽動者と認むべき數名を羅致せる爲め幸に無事なるを得て總額二圓七十五錢の徵稅を得たりと云ふ

●鄭雲復氏除名さる

大韓協會は十九日本部に於て總會を開き翌二十日も亦引續き總會を開きたるが曩きに評議員會に於て除名することに決したる同會の大立物鄭雲復除名の件を總會に諮り遂に之を除名したりと

●水源端燈臺の霧笛

隆熙四年一月二十日告示第一〇一號を以て韓國東岸水源端燈臺の霧笛吹鳴停止の旨告示ありし處來る二月二十五日より從前の通り吹鳴を開始すと

●李甲以下放免さる

安重根事件連累者の嫌疑を受け久しく拘留中なりし李甲、金明濬、安商浩、李城鏞は憲兵隊の公明正大なる取調の結果今回放免となり十九日出獄せり

●漢城府廳舍の移轉

光化門前元法務院跡に移轉さるべき漢城府は同修繕工事も既に大部分竣工せしに就き近々內移轉の運に至るべしと

●警視總監の招宴

若林警視總監は來る廿三日午后六時翔翠樓に司法廳員及裁判官等約二十余名を招待すべしと

●楠野副理事着任

楠野副理事官は去る十八日淸津理事廳に着任したりと

●辭令

二月十五日附を以て左の通り任命せられたり

臨時棉花栽培所技師兼種苗場技師 山本小源太
命臨時棉花栽培所長兼光州種苗場長
種苗場技師 岸秀次
命全州種苗場長
種苗場技師 佐藤政次郎
命晉州種苗場長
勸業模範場技師兼種苗場技師 指宿武吉
命公州種苗場長

東拓社債發行

東拓會社現在の拂込資本總額は二百五十万圓にして金總額は其の五分の一を使用し得るに過ぎざるを以て到抵十分の活動を爲すこと能はず本年六七月頃に至らば全く資金の缺乏を告げ手を束ぬるの外なきより同社に於ては之れが擴張の計畫を立て拓殖會社法の改正案を今期議會に提出するの企圖ありたるも政府は之れが改正を好まず此際寧ろ社債を發行して之れを大藏省の預金部に置き必要あるに當りて引出すことに協議纏りたる模樣あり隨つて同會社法の改正案は提出せざるべしといふ

京龍合併の再發

前年中一たび唱道せられ贊否の議論囂かりし京城龍山兩民團合併問題は龍山側の反對に依りて遂に解決を見るに到らざりしが爾來該地發達の趨勢は當時の豫期に反し次第に衰微の傾向を示しつゝある爲め現に其歲入は必要の歲出を辨ずる能はず該地在留の有力者等は此現象を見て大に之を遺憾とし之が頽勢を挽回せんには團債を募りて其用途に充つるの外なきも如上の現狀にては到底成立覺束なし故に此際京城民團に合併し相應じて經營の歩を進むるの得策なるを認め目下兩者間に交涉進行中なり而して合併に依りて利益を生ずべきは一にして足らざるも之を龍山側より見れば幾多眼前に迫れる經營資金を得るに多大の便宜を得べく而已ならず頗大の一區域に於て城郭を設け接續的市街を形成する能はざるは彼此共に非常の不利益なり且つ電話料の如きも此區別を撤去すれば市外料金の如き煩雜極まる手數料を要せざるに到るべし特に漢城府の行政區域は兩者を包有せるに吾が居留民團の如斯分離せるは寧ろ愧づ可き狀態なりとす旁々此合併は何人も見て以て其必要を叫ぶ所以なるに今回龍山側より曩日の行掛又は感情問題等に拘泥せず其希望を申込み來りたるは大に歡迎すべき次第なりと而して合併の形式は統監之を定むるものなるが財産に關し兩者の意志合致を要するを以て充分其交涉を遂げ然る上事實の問題として現はれ來るべし故に此準備交涉に就ては相互胸襟を廣ふして圓滿に成立を告げしめたきものなり(電通)

●韓國棉花植付反別

臨時棉花栽培所管內の各棉花採種圃に於ては本年度の棉花植附地を選定中なるが往年開所當時にありては棉採種圃より配布されたる種子を使用する事は後年何等かの難題なるかの如く誤解するの傾ありしが近時に於ては漸く右の誤解氷解し來り鮮人は採種圃より配布さるゝ種子を歡迎するに至りし結果昨年に比し著しく作付反別を增加し管內に於て約一千町歩に達する見込みにて其地方別は左の如し

木浦、四百七十町歩▲南平、二百三十五町歩▲光州、百八十町歩▲右水營、四十町歩▲珍島、十五町歩▲全州、二十町歩▲晉州、十町歩▲大邱十町歩▲水原、十町歩▲燕岐、五町歩▲京城、五町歩

●會議所定款の改正

京城商業會議所の定款は去る三十六年に制定したるものにして時勢の進運と共に改定を要すべき點ある由にて會議所にては本年度內に右不備の點を改正すべく目下調査中なり今改正すべき要點を擧げれば左の如し

一、代人撰擧制を廢止すること
一、補欠議員制を廢止すること
一、賦課金の標準を改正すること

●木浦昨今の棉花界

本月に入りてよりは棉花の廻着遲々として振はず五萬に達すべしと想像されたる個數も尚數日を要すべき模樣なり本年は餘程の豊作なりしと雖も昨今に及びて殆ど出盡し田舍に殘存せるものは極て小數なるべしと察せらる本月に入りてより十五日迄の合計は八百二個最初よりの累計四萬七千三百二十七個に達せり而して品據底の一方には相場漸次騰貴し現今にては最低百斤七圓五十錢より最高八圓八十錢を呼びつゝあり

●學校敷地認可申請

過日の民會に於て決定したる民團立第三小學校の敷地(櫻井町)は其後民團と所有主の交涉纏りたるを以て愈々昨二十一日民團より理事廳へ認可申請せり

●仁川取引所再開期

仁川米豆取引所は久しく休業中なりしが今回六名の仲買希望者出で尙は增加する模樣あるを以て來月 日より再び開業すべく目下準備中なりと云ふ

●榊原憲兵隊長出發

憲兵隊長會議列席の爲め駐韓憲兵隊長榊原少將は廿日南大門出發東上せり停車場には趙農相李觀衛府長官以下各武官及統監府高等官憲兵將校等見送れり

●李一進會長の歸京

一進會長李容九氏は宋秉畯氏と會議の爲釜山へ密行中なりしが廿日朝歸京す

●塚本技師の歸任

舊臘中觀察用を帶び歸朝中の度支部財源調査局塚本技師は二十日夜南大門着歸任されたりと

●釘本議員の東上

民會議員釘本虎次郎氏は商用を帶び今廿二日午前九時南大門發東上し約一箇月滯在の豫定也

●高技師の退京

入京中の島根縣水產技師の同氏は二十日釜山に向へり

●齋藤勇三氏入京

海軍主計大監の同氏は一昨二十日入京浦尾旅館に投宿

●土肥支配人入京

小樽木材株式會社支配人の同氏二十日入京京城ホテル

●呼子警視の歸任

出張中なりし皇宮警察署の同氏は一昨二十日歸任せり

●大庭民長の通過

平壤民長の同氏は一昨二十日當地を通過し釜山に向ふ

龍山通信(廿一日 支局報)

▲民團の豫算總額 龍山民團の豫算案は略ぼ出來上りしも未だ民會に附するまでには至らず而して歲出歲入の總額を聞くに凡そ六萬圓內外なりと云へり

▲大久保民長歸龍 韓國横貫鐵道期成會委員として上京したる大久保民長は十九日頭歸龍す尙ほ常務委員として上京せし大村百藏氏は暫く滯京の筈なり

▲香川旅團長歸龍 來龍中なりし香川旅團長は二十日平壤に向け歸任したり

▲武田少將釜山行 平壤鑛業所長武田海軍機關少將は二十日釜山に向ひたり

▲下士以下の慰問 當地壽座に開演中なりし浪花節桃中軒星右衛門は一昨二十日午後一時より十三聯隊兩大隊兵舍に下士以下を集め義士傳二席を讀みたるに一同非常の喝采を博したりと云ふ

▲治外法權▼

忠淸南道新川郡居住の正三品金在龍外三名の連署にて永々しい投書があつた、內容は李完用に對する忠言で、大体の意味は四年の久しき內閣を維持して居るけれども瀕死の擧にある我韓國は如何なる名醫たりとも之れを醫する事は出來ぬ▲然るに依然として其椅子を離れざるは已れ一個人の榮譽にして五百年の宗社、二千萬の民族には何等無關係である、首相が一日永く其職に止まれば一日だけ國家に害毒を貽すものである、國民の爲め速かに辭職せよと云ふにあつて、こゝ一寸兆民式の論鋒である▲別項記載の如く韓太子歸韓に就て嚴柱益は嚴妃に三萬圓の旅金調達を申越したそうだ二口ぶりには宮中の金を引張り出そうとかゝるから堪まらない▲電通の餘錄にもあつたが佐竹男爵がクラブ洗粉の効能を說いた廣告が昨今各新聞紙に見へるようだ、佐竹男爵と云へば有名な色黑で、京城の花柳界では『印度の御前』又は『腐り始』と云ふて居る前名は即ち色の黑い處から後名は始終口が空きかゝつて居るからだと▲處が此黑御前が大にクラブ洗粉の效能を說いて居るから面黑い▲前の大阪相撲の赤垣と云ふ男は非常に痩せて居たが肥滿の見込みがあると云ふので大亞錦の廣告となり、大亞錦と名乘つて居た、佐竹男爵がクラブ洗粉の廣告に利用されたのも此の筆法で白くなると云ふ見込があつたからとすれば印度の御前除り悔んだものでもムらぬて。

五萬圓の首

▽死首を賀に脅喝す

慶尚北道大邱郡西上面前洞住馬賢典と云ふは羣內屈指の物持なるが本月父萬載と云ふが死去したれば盛大なる葬儀を營み西中面坪里洞山北面の中腹に地を相して埋葬したのを見てユスリの手段を思着き世にも殘忍なる所行を爲したる曲者あり、扨も馬賢典方では追慕の涙未だ乾かず跡吊ひに他事なき折柄何者とも知れず書面を投込みし者あるに何事やならんと披き見れば是はそも如何に其文面の意味は「汝が父の首は理由あつて斬取りたり之が欲くば金五萬圓差出す可し、受取の場所は增若驛附近の山の上にて首と引換にせん」とありければ一家はアツと斗りに仰天し直に墓所に駈着たるに埋葬當時と樣子變りて取散し在るにぞ堀出し見れば無殘なるかな父の死骸は首無き躯体となり居るより悲鳴を揚て哀みしが斯くて在るべきに非れば取敢へず警察署に急訴したり、警察署も容易ならざる犯罪と心利きたる巡査數名に服裝を代て增若の山を見張らせしに怪しと思ふ男を見掛しも其れと覺りしか影を潜めて捕ふる能はず何れも殘念がり居る中又も馬の家へ投書あり今度の文面は「金二萬圓と大邱郡上守西面邑嶺洞山中龍頭谷にて引換ん」と三萬圓直引して申込たれば直ちに警察に屆出で前回通り張番したるに又もや怪しの男を見受しも忽ちにして見失ひたり、警察の考にては兩回迄警官の見張りに氣附たれば此奴尋常にては捕へ難し然し金にする目的にて斬りたる首なれば其儘に歸む筈なし今度は馬の家に見張りて投書する奴を引捕へなば其れが本人ならぬ迄も手懸りは十分ならんと巧に張番を爲したるに去る十七日午前五時未だ明け切らぬ暗まぎれに一人の男忍び寄り邊りに前後を見廻しながら竹の先に書狀を挿みて壁の隙間より差入るゝ處を巡査は脫兎の如く飛着て引捕へ直に拘引して取調ぶると此奴は漆谷郡西面竹谷洞生れ現今は一定不住の擔軍にて盧龍伊（三二）と呼ぶ者にて嚴しき訊問に隱し果せず逐一白狀したる所によれば彼等は同類の惡者と何か金儲は無きかと蚤取眼を配る中馬の葬儀を見て思附きユスリを企てたる者にて右死首は西中面坪洞より約一哩を距てたる鐵道線路際の墓地に埋め置き在り同類も龍伊の白狀にて直ちに縛に就きたるが其者は同所の金俊鎬（三三）と云ふ奴なりとは大變な奴

燈臺に發砲す

▽不埒なる支那汽船
▽事態頗る不穩なり

去る六日午後三時竹島燈臺の水道を北西に航行せる支那瀛船一隻（船名不明）は同燈臺の北東沖合を距る約千米突の海上に於て數多の洋裝せる人員俄然甲板上に集合し燈臺に向け小銃數發を發砲し同海岸へ命中したる由なるが如何なる事由にて斯かる行動を爲したるか事態頗る不穩の所爲なるに依り今般其筋へ報告ありたりと

安重根死を望む

▽最早思ひ置事なし

旅順法院に於て死刑の宣告を受けたる兇漢安重根は十七日午後一時法院內にて平石高等法院長に面會を求め自分が韓國獨立東洋平和のため伊藤公を殺害したるは決して誤解に出でたるものにあらず自分は最早思ひ置く事なければ潔く死に就くべしと述べ「天地覆翻、義士慨嘆、大廈將に覆らんとす一木支へ難し」の數句を遺書せり

●火賊の珠數繫ぎ

▽八名中の一人は首魁

客年來全羅北道臨陂益山兩郡地方は火賊隨所に出沒して同地方の良民は困憊に困憊を重ね居たるが群山署にては各駐在所より韓巡査若干を召集し之れに日韓の警員を加へて變裝討伐隊を組織し一隊を三組に分ちて去る十三日同方面に出動恰かも舊年頭に際し居たるを機とし搜索具さに努めたる結果十六日迄に八名を逮捕し珠數繫ぎとして引致したる由なるが目下其の罪狀に就き嚴重取調中との事右八名中の一人姜成水と云は彼等一團の首魁なるが如しと

●騙た金て紳士氣取

▽煙に捲れた三千浦

仁川花房町二丁目居住の牛乳商鹿兒島縣人市坪藤太郎（三三）及び同地宮町一丁目の同縣人岩崎龜之助（四〇）の兩名は昨年末末永呉服店を初め其他市坪は七箇所岩崎は三箇所に於て物品を詐取し其被害高約一千圓の多きに上りたるのみならず諸所よりの負債を借倒して同月三十日姿を晦ませしかば被害者は仁川署に訴出したり爾來同署に於ては八方其の行衛を搜索中なりしが漸くにして慶尚南道泗川郡三千浦に潜伏せる事實を確めたれば去る十五日今井石川の兩刑事は拘引令狀を持て同地に出張し一昨日右兩人を本署に拘引せしが聞く處に依れば同人等は仁川に於て詐欺取財を働き懷中に幾分の蓄へあるより三千浦に於て紳士風を吹かし居たる處を取押へし爲め同地人は煙に捲かれし上にも捲かれ口アングリの態は滑稽なりしとぞ

●亂暴者

▽屋根から投石す

宮崎縣生れ平民本町一丁目裏通り二十一番戶の七用達商高島周助方雇人豫備陸軍步兵上等兵勳七等と云ふ長々しき肩書き附の齋藤源三（三）と云ふ亂暴者は昨二十一日午前三時頃泥醉の上自宅屋根より攀ち登り無暴にも足元の瓦石を掴んで周圍の淸韓人家屋內の窓を見掛けて投げ出したるより危險云ふ計りなく早速其の由隣家の韓人より訴へ出でしより直樣巡査出張なせしに警官の姿を見るや源三は素早く姿を隱したるより其の儘巡査も歸りたるに間もなく又々同韓人訴へ來りたるより再度出張なせし處韓人の申立て通り盛んに投石なし居るより同家は韓人家屋の屋根も低きより同巡査屋根に登りて取押へんとなしたるに飛び下りて溫突內に潜みたるを後發見して連署の上取調べんとなしたるも泥の如く醉ひ居る事とて調べも實もあつた者に非ざるより覺醒迄留置きとは困つた上等兵殿かな

●妻枝の愁嘆

當地新町遊廓井門支店の妻枝女郎と云へば名前柄宛然年增の姥櫻の樣にも聞ゆれど其實今年十九歲番茶も出花の花盛りにて營業鑑札がエンヤラヤッと下附相成つたと云ふ至極可愛い丸ぼちやの小姐はん頭の髷は江戶式の其の廂髮か意氣なとかで一時は隨分鼻下長の鼻毛を讀んで全盛を極め大姐はんに舌を卷かせし事もありしとの事なるが世は西東の電の謎への昨日の全盛が思ひ出の種と殘つて今日此頃の陽氣風も妻枝の軀だけは退けて通り客足とんと附かざるより何時も大部室に思案投首「恁うして妾に丈け還座にれ客のない事か友達衆にも面目ない」と愚痴嘆息に日を暮し愁嘆見るも氣の毒千萬と云ふ投書一通舞ひ込みしが情のある客もあらばせめて一夜の親ひも女救けの施しなるべし

●十五錢が原因

旭町一丁目三百一番戶石炭商福島小三郎方雇人長崎縣平民佐々木常次（三〇）と云ふは去る十九日南部東署鐵里六統二戶住の金明玉（三二）と云ふ者の販賣する薪を三圓八十二錢にて自分主人に世話をなし二十日右代金の取引を了りたるが常次は其際金に向つて周旋なしたる禮金として十五錢の出金を促したるに金は只今小錢なき故後刻持參なすべしと云ひしを常次は承知せずして提へ居りし小刀にて金の冠り居たる帽子に切付け破損なしたるより今度は金が承知せず其の旨交番に訴へしより一應取調べの上辨償說諭を加へらる

●韓人同志の喧嘩

仁川寺町二丁目料理居大柳龜松方雇人高春率（三二）と云ふは一昨日午前十時過同町龍路に於て豆腐賣子李學長（三二）と少しの言ひ懸りより喧嘩を初め遂ひには双方摑合となり高は亂暴にも豆腐箱を打覆せしかは中にある豆腐は滅茶〳〵となり、ウレる事も出來ぬ樣になりたる騷ぎに警官出張說諭の上前記損害を賠償する事に示談事濟みたり

●淸人待合を襲ふ

仁川浮浪の淸國人王和成（十七）と云ふは昨日午前六時頃杻峴驛前待合に忍び入り竊盜を働かんとせし處を家人に取押へられ其筋に突き出さる

●土曜日曜の新町

土日兩曜の新町遊廓登樓客は合計二百二十一名にして其の消費高千百五十三圓三十一錢なり

●歌舞伎座

同座二十二日本晚の替り狂言は『高麗傀儡箱』と題する通し者

平民文庫

▲井門支店の月枝が遠山と云ふ小間物屋の裏の溫突に閉つて居色男と云ふのは一六號賣所の桑さんとれ聞きになれば直ぐに知れる、本紙に遠山の記事が掲つた翌日桑さん嬉し相にニコ〳〵しながら夫れでも口では「コウ顯はれては困つたナア」と云つて居た（兎耳子）▲南大門通りの魚市場に若い女儀が店を出してるのがある十九日の朝の事であつた幼子を負ふた廿六七の細君が其の店の前へ立つてアレかコレかと値を聞いて居たが少時して「全体にアッチの方が安い樣に思はれるワ」と云つたがこれを聞いた女魚屋さんグッと氣に障つたと見わ「夫れなら安い方でれ買ひなさい」と慳貪に云つてツンと濟したが商賣人にも似合はぬ（實見生）▲實見生よ夫れは觀察が違ふ、安い所でた買ひなさいと親切に敎へたものと見れば感心なことだ（小僧）▲僕は貫食大將喰一等斷斗吐爵財布和唐成である本欄への初對面として小僧君に勳爵を紹介し併せて將來の愛顧を乞ふ（一虎）▲廿日の夜ドクトルメチチー子工藤武城君方の代診先生看護婦殿と同伴壽座に浪花節を聽きに行つて居たが浪花節は其方除けで橫文字の本を讀んで御座る浪花節を聞きに來て迄此の勉強、勉強するには芝居小屋よりれ宅での方が便利だらうに兎に角感心なことだが一体讀んで御座るのは何んだらうとソッと覗ひて見たらロングマンの三（何野琴太）▲加藤淸正の私生子蕃殖して趣味ある史蹟を殘したりと鬼と呼ばれし將軍も此の事計りは別物と見わる實にや色好まぬ者は玉の盃底なきが如し我も底ある盃となつて『ソンジョソコラ』の『キチベ』をチョロマカして笠箕子の後裔を樹てん哉（笠箕子）▲和歌の家の春さん」とか何な話をしたか知りもせぬ癖に人をカラカッチは不可ないとか言はれますが碌な話でない事は白晝面も女の身分其上龍山から來て所もあらうに山の中とは如何です之を以て見ても惡い話と云ふ事は分明でしよう未だ言ひ聞かせて上げる事もありますよヲイ〳〵空トボケマスな然し妾は稻荷大明神とやらに最負するのではない唯貴女の心中を知つても居るし又場所が場所だからよ（山中聞た生）▲びは歌にも筑前びはと薩摩びはと二種ありますが私共どちらが好かと云つたら薩摩の方が勇ましくて大好きだ筑前びはの敎授所は近來好景氣の樣だが誰か薩摩びはの敎會所を設立して大に會員を奬勵する有志はござらぬか（サツマビワ狂）

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

二月廿二日舊正月十三日七赤赤口戊午定三りんぼ△一白●榮進の日なり旅行入門婚姻礦山業大に良好△二黑●家庭又家族の事に些少の世話事若くは煩累あらん其外吉△三碧●轉倒齟齬の事多し取引上克く意を用ふべし色情の破れを戒しむ△四綠●新事及變更の事凶交誼を結び祝典を擧げ連盟を訂する好し△五黃●貸借保證事を忌む其他平靜△六白●轉業分業旅行等吉其他平凡△七赤●窘窮の日なり新事及變更の事見合すべし盜害遺失防ぐべし△八白●い爲め情のため損害煩累あらん兒女の特に注意を要す△九紫●新事見合すべし交際上及家庭內衝突波瀾あらん

●天氣豫報（自廿一日午後六時 至廿二日午後六時）

北西の風晴

二十日（華氏） 最高溫度 三〇、二 最低溫度 一八、九